



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 大同メタル工業株式会社
 コード番号 7245 URL <https://www.daidometal.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 判治 誠吾
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画ユニット長 (氏名) 岩倉 弘記
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 TEL 052-205-1400

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	27,569	10.3	557	60.2	651	53.6	63	91.3
2022年3月期第1四半期	24,995	32.5	1,399		1,403		726	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 2,370百万円 (18.7%) 2022年3月期第1四半期 1,997百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	1.35	
2022年3月期第1四半期	15.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	171,318	70,178	35.9
2022年3月期	166,155	68,695	36.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 61,480百万円 2022年3月期 60,340百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		10.00		15.00	25.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		10.00		15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	52,500	4.3	1,050	60.8	1,150	55.8	30	97.5	0.64
通期	108,000	3.8	2,800	44.5	2,700	44.2	300	84.2	6.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	47,520,253 株	2022年3月期	47,520,253 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	696,224 株	2022年3月期	743,664 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	46,793,951 株	2022年3月期1Q	46,500,200 株

(注)当社は、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship)」及び、取締役及び執行役員向けに、信託を用いた業績連動型株式報酬制度を導入しております。当該信託に残存する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料「2023年3月期 第1四半期(累計)連結決算ハイライト」は、TDnetで本日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐ中で、経済活動の正常化が進み、日本・欧米などの先進国の経済が持ち直しを見せるものの、一方で自動車業界では半導体供給不足、新型コロナウイルス感染拡大と中国の上海ロックダウンなどの影響によるカーメーカーでの減産、また、ウクライナ情勢長期化や急激な為替円安に伴う原材料やエネルギー価格の高騰など、依然として事業環境は厳しく先行きも不透明な状況が継続しております。

わが国経済においては、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制限緩和に伴い、個人消費や設備投資は底堅く推移したものの、半導体供給不足や中国の上海ロックダウンなどによる自動車の減産等により、総じて持ち直しの動きに足踏みがみられます。

当社グループの業績においては、原材料価格高騰に伴い、グループを挙げて売価への転嫁を行っておりますが、原材料やエネルギーのコスト増が一段と進行した影響を受けました。

このような市場環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、自動車産業における新型コロナウイルス感染症からの世界的な底堅い需要回復、船舶や建設機械関連における好調な需要の増加、また為替の円安影響を受け、売上高は275億69百万円と前年同四半期比25億73百万円（+10.3%）の増収となりました。

利益面につきましては、営業利益は5億57百万円（前年同四半期は営業利益13億99百万円）となりました。また、経常利益は6億51百万円（前年同四半期は経常利益14億3百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は63百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益7億26百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は、セグメントの売上高に含めております。

① 自動車用エンジン軸受

日本国内の当第1四半期連結累計期間の新車販売台数は、半導体供給不足に加え中国の上海ロックダウンによる部品不足で生産が停滞した影響を受け、前年同四半期に比べて約14%減少しております。また海外では、半導体供給不足の影響が大幅には改善せず、前年同四半期に比べ、中国では微増に留まり、米国でもガソリン価格の高騰や金利上昇の影響などで新車購入には逆風となり約16%の減少、また欧州においても半導体供給不足の影響が続いており、約14%減少しております。他方、タイでは政府による経済活動や消費の振興策が奏功し国内向けの販売は約19%増加しております。

そのような状況下、当社グループの国内の売上高は前年同四半期比で微減に留まりましたが、海外では新型コロナウイルス感染症からの底堅い需要の回復により、売上高は約12%増加したことから、当セグメントの売上高は前年同四半期比7.3%増収の151億41百万円、セグメント利益は同30.6%減益の15億75百万円となりました。

② 自動車用エンジン以外軸受

海外では自動車用エンジン軸受と同様に新型コロナウイルス感染症からの底堅い需要の回復傾向がみられましたが、国内は半導体供給不足に加え中国の上海ロックダウンによる部品不足による自動車の減産が続いた影響を受けて、売上高は前年同四半期比1.5%減収の49億77百万円、セグメント利益は同11.8%減益の7億26百万円となりました。

③ 非自動車用軸受

・船舶分野

2022年6月末の手持ち工事量は2,188万総トンと前年同四半期末と比べ約21%増となり、世界経済の回復に伴う海上荷動きの増加、メンテナンス需要の増加傾向に加えLNG船（液化天然ガスを運ぶタンカー）等、受注環境の好転や開拓によるシェアアップで、売上高は前年同四半期に比べ、大幅な増加となりました。

・建設機械分野

主に北米、中南米や東南アジア（インドネシアなど）の需要の回復基調が続き、サービスパーツなどの需要も好調に推移した事も寄与し、当社グループの売上高も前年同四半期に比べ、増加しました。

・一般産業分野におけるエネルギー分野

エネルギー市場においては、再生可能エネルギーが注目されている中、水力発電等の需要は堅調に推移しており、加えて化石燃料の発電市場全般ではCO2削減の観点から当社においても主に火力発電向けのガスタービン、蒸気タービン用軸受の需要は厳しい環境が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い停滞していたプラント案件が動き出し、売上高は前年同四半期比で増加に転じました。

これらの結果、建設機械分野、船舶及び一般産業分野におけるエネルギー分野の売上増により、当セグメントの売上高は前年同四半期比36.5%増収の34億62百万円、セグメント利益は同55.4%増益の5億13百万円となりました。

④ 自動車用軸受以外部品

・アルミダイカスト製品

タイの自動車産業については徐々に回復傾向がみられており、前年同四半期に比べ、国内生産は約3%増加しております。当社においては、タイの自動車産業における需要回復に伴う売上増やタイの新工場（DMキャスティングテクノロジー（タイ）CO., LTD.）における電動自動車用部品の新規納入も増え始め、売上高は前年同四半期に比べ大幅に増加しました。セグメント利益については新規に納入する電動自動車用部品の垂直立ち上げに伴う初期の経費増により、前年同四半期に比べ減少しました。

・曲げパイプ、ノックピン、NC切削品などの部品

世界的な半導体供給不足の影響を受け、前年同四半期に比べ減収となりました。他方、セグメント利益については拠点の統合や生産の合理化努力により、粗利率で約6%の改善となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比25.2%増収の40億47百万円、セグメント損失は5億7百万円（前年同四半期はセグメント損失3億59百万円）となりました。

⑤ その他

ポンプ関連製品事業の工作機械向け潤滑装置は堅調であるものの、代理店向け金属系無潤滑軸受の在庫調整や半導体供給不足に伴うポンプの駆動機器などの調達難の影響により、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート及び不動産賃貸事業等の当セグメントの売上高は前年同四半期比9.2%減収の4億86百万円、セグメント利益は同22.1%減益の73百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間における総資産は1,713億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ51億63百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金、商品及び製品、有形固定資産が増加したことによります。

流動資産は895億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億38百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加したことによります。

固定資産は817億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億24百万円増加いたしました。これは主に機械装置及び運搬具が増加したことによります。

負債につきましては1,011億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億80百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加したことによります。

純資産は701億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億82百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が増加したことによります。

自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.4ポイント減少し35.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、9億37百万円の支出となりました。これは主に減価償却費による収入22億23百万円、棚卸資産の増加による支出20億44百万円、売上債権の増加による支出8億54百万円、賞与引当金の減少による支出7億35百万円によります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、15億91百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出13億18百万円によります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億65百万円の収入となりました。これは主に短期借入金の純増減額の増加による収入17億52百万円、長期借入金の返済による支出10億45百万円によります。

以上により、当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は168億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億70百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の連結業績予想につきまして、急激な円安の加速、国内外における物流の混乱や原材料の高騰に加え、海外子会社における業績の悪化などの影響により、前回公表した業績予想を下回る見通しとなったため、下記のとおり修正いたします。

前提為替レートにつきましては、1 USドル/136.68円、1 ユーロ/142.67円（第3四半期以降は、1 USドル/120円、1 ユーロ/130円）としております。

2023年3月期【第2四半期（累計）】連結業績予想数値（2022年4月1日～2022年9月30日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
2023年3月期 第2四半期（累計） 前回予想（A）	52,500	1,550	1,450	750
2023年3月期 第2四半期（累計） 今回予想（B）	52,500	1,050	1,150	30
増減額（B-A）	—	△500	△300	△720
増減率（%）	—	△32.3	△20.7	△96.0
（ご参考）前年同期実績 2022年3月期 第2四半期	50,315	2,677	2,602	1,188

2023年3月期【通期】連結業績予想数値（2022年4月1日～2023年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2023年3月期 通期 前回予想（A）	108,000	3,500	3,300	1,700
2023年3月期 通期 今回予想（B）	108,000	2,800	2,700	300
増減額（B-A）	—	△700	△600	△1,400
増減率（%）	—	△20.0	△18.2	△82.4
（ご参考）前期実績 2022年3月期 通期	104,024	5,042	4,836	1,897

(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、2023年3月期の中間及び期末配当予想につきましては、2022年5月13日の公表値より変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,018	21,522
受取手形及び売掛金	24,552	26,131
電子記録債権	2,732	2,758
商品及び製品	14,606	15,962
仕掛品	10,864	12,126
原材料及び貯蔵品	8,073	8,372
その他	2,206	2,815
貸倒引当金	△126	△121
流動資産合計	85,928	89,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,693	16,912
機械装置及び運搬具（純額）	24,119	24,995
その他（純額）	16,478	16,727
有形固定資産合計	57,291	58,634
無形固定資産		
のれん	5,152	5,134
その他	6,344	6,263
無形固定資産合計	11,497	11,397
投資その他の資産		
投資その他の資産	11,491	11,773
貸倒引当金	△52	△53
投資その他の資産合計	11,439	11,720
固定資産合計	80,227	81,751
資産合計	166,155	171,318

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,555	8,855
電子記録債務	11,130	11,249
短期借入金	27,055	29,695
1年内返済予定の長期借入金	7,733	7,311
未払法人税等	1,522	494
賞与引当金	1,555	820
役員賞与引当金	39	12
製品補償引当金	74	94
営業外電子記録債務	521	492
その他	7,224	9,582
流動負債合計	65,414	68,609
固定負債		
長期借入金	19,678	19,834
株式給付引当金	49	50
役員株式給付引当金	41	45
債務保証損失引当金	143	156
退職給付に係る負債	7,514	7,667
資産除去債務	17	17
その他	4,600	4,759
固定負債合計	32,045	32,531
負債合計	97,460	101,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,413	8,413
資本剰余金	13,114	13,114
利益剰余金	37,567	36,918
自己株式	△560	△525
株主資本合計	58,534	57,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	981	898
為替換算調整勘定	906	2,712
退職給付に係る調整累計額	△82	△51
その他の包括利益累計額合計	1,805	3,559
非支配株主持分	8,355	8,697
純資産合計	68,695	70,178
負債純資産合計	166,155	171,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	24,995	27,569
売上原価	18,274	21,301
売上総利益	6,721	6,268
販売費及び一般管理費	5,321	5,710
営業利益	1,399	557
営業外収益		
受取利息	14	21
受取配当金	31	48
為替差益	32	201
持分法による投資利益	35	36
その他	75	52
営業外収益合計	188	360
営業外費用		
支払利息	146	169
その他	38	97
営業外費用合計	184	266
経常利益	1,403	651
税金等調整前四半期純利益	1,403	651
法人税、住民税及び事業税	771	333
法人税等調整額	△287	147
法人税等合計	484	480
四半期純利益	918	170
非支配株主に帰属する四半期純利益	192	107
親会社株主に帰属する四半期純利益	726	63

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	918	170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△81
為替換算調整勘定	968	2,123
退職給付に係る調整額	60	31
持分法適用会社に対する持分相当額	44	126
その他の包括利益合計	1,078	2,199
四半期包括利益	1,997	2,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,562	1,817
非支配株主に係る四半期包括利益	434	553

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,403	651
減価償却費	2,282	2,223
のれん償却額	174	185
持分法による投資損益 (△は益)	△35	△36
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△86	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△527	△735
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	21	△27
退職給付に係る資産負債の増減額	95	△44
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	13	1
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△12	4
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	0	—
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△10	12
受取利息及び受取配当金	△45	△70
支払利息	146	169
売上債権の増減額 (△は増加)	△580	△854
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,328	△2,044
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,144	△244
未払消費税等の増減額 (△は減少)	152	3
その他の負債の増減額 (△は減少)	2,113	1,870
その他	311	△671
小計	6,230	383
利息及び配当金の受取額	56	47
利息の支払額	△151	△152
法人税等の支払額	△356	△1,215
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,778	△937

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△730	△958
定期預金の払戻による収入	358	749
投資有価証券の取得による支出	△9	△11
有形固定資産の取得による支出	△1,929	△1,318
有形固定資産の売却による収入	10	8
無形固定資産の取得による支出	△33	△53
貸付けによる支出	△11	△33
貸付金の回収による収入	18	18
その他	7	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,319	△1,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,047	1,752
長期借入れによる収入	1,700	500
長期借入金の返済による支出	△586	△1,045
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△149	△110
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	26	24
配当金の支払額	△447	△673
非支配株主への配当金の支払額	△336	△183
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,841	265
現金及び現金同等物に係る換算差額	269	292
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△112	△1,970
現金及び現金同等物の期首残高	18,637	18,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,525	16,897

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当該事項はありません。

(セグメント情報等)

[前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)]

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン 軸受	自動車用 エンジン 以外軸受	非自動車用 軸受	自動車用 軸受以外 部品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,957	5,028	2,526	3,096	24,609	386	24,995
セグメント間の内部 売上高又は振替高	160	24	10	135	330	149	480
計	14,117	5,053	2,537	3,232	24,940	535	25,476
セグメント利益 又は損失 (△)	2,268	823	330	△359	3,063	94	3,158

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,063
「その他」の区分の利益	94
セグメント間取引消去	△3
全社費用 (注)	△1,755
四半期連結損益計算書の営業利益	1,399

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

[当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）]

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン 軸受	自動車用 エンジン 以外軸受	非自動車用 軸受	自動車用 軸受以外 部品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,941	4,950	3,450	3,896	27,239	329	27,569
セグメント間の内部 売上高又は振替高	199	26	12	151	389	156	546
計	15,141	4,977	3,462	4,047	27,629	486	28,115
セグメント利益 又は損失 (△)	1,575	726	513	△507	2,308	73	2,381

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,308
「その他」の区分の利益	73
セグメント間取引消去	4
全社費用 (注)	△1,829
四半期連結損益計算書の営業利益	557

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。